

令和5年司法試験結果について（報告）

法務研究科長 久保田光昭

令和5年司法試験は、全国8試験地で（新たに琉球大学構内に試験会場が設けられた）7月12日～16日に実施され（昨年までより2か月繰り下げられた）、11月8日に最終合格者が発表されたので、以下報告する。

1. 全国の受験者数・合格者数について

全国で3,928名（このうち、法科大学院修了者2,505名・在学者1,070名）が司法試験を受験し、1,781名（このうち、法科大学院修了者817名・在学者637名）が合格した（合格率45.3%、法科大学院修了者32.6%・在学者59.5%）。

本年から、一定の要件（法律基本科目について基礎科目30単位以上および応用科目18単位以上、展開・先端科目について司法試験選択科目にかかる授業科目4単位以上を修得し、かつ当該年度に修了見込みであること）をみたした法科大学院在学者にも受験資格が認められたことから、受験者数および合格者数が増加している。また、令和2年度から全国の法学系学部法曹コースを置き、学部3年間（早期卒業）と法科大学院既修者コース2年間、合計5年間の在学で法曹資格を取得できる制度（いわゆる「3+2」）が始動したところ、本年に初めて法曹コース出身者が在学中受験した。在学者の合格率は高い。

	受験者	短答式合格者	短答式合格率	最終合格者	最終合格率
令和元年	4,466名	3,287名	73.6%	1,502名	33.6%
令和2年	3,703名	2,793名	75.4%	1,450名	39.2%
令和3年	3,424名	2,672名	78.0%	1,421名	41.5%
令和4年	3,082名	2,494名	80.9%	1,403名	45.5%
令和5年	3,928名	3,149名	80.2%	1,781名	45.3%

2. 本研究科修了者・在学者について

本研究科の修了者と在学者についてみると、修了者30名・在学者4名が受験し、修了者2名・在学者1名が合格した（合格率8.8%、修了者6.7%・在学者25.0%）。累計合格者は、法科大学院設置以来80名に達した。

本研究科は、未修者コースに重点をおいた法科大学院である。いかに未修者教育を充実させ司法試験合格率を向上させることができるかが課題である。また、人文社会学部国際法政学科法学プログラムに、法科大学院に進学し将来法曹となることを希望する学生向けに本研究科教員によるLS進学等特修クラスを設けているが、来年度より正規の法曹コースを設置し「3+2」による法曹養成教育を行うことを計画している。

	受験者	短答式合格者	短答式合格率	最終合格者	最終合格率
令和元年	34名	17名	50.0%	5名	14.7%
令和2年	26名	16名	61.5%	6名	23.1%
令和3年	26名	14名	53.8%	2名	7.7%
令和4年	29名	20名	69.0%	4名	13.8%
令和5年	34名	24名	70.6%	3名	8.8%

司法試験合格は、合格者が本研究科在学中、また修了後も真摯に勉学に励んだ成果であるが、沖縄弁護士会にさまざまな学修支援事業をご提供いただいたほか、当山フェローシップや鎌倉フェローシップによる奨学金を受給したり、修了後に沖縄銀行に契約社員として雇用されたりするなど、地域社会から多大なるご支援をたまわった。あらためて感謝申し上げます。

今後の法曹としての活躍を大いに期待したい。